

高幡地域アクションプランの進捗状況等について

(第3四半期)

高幡地域アクションプランの進捗状況等について（第3四半期）

H 2 5 . 2 . 1 4
高幡地域本部

1 地域アクションプランの実施状況（総括）

(1) 総評

2期目の産業振興計画では、それぞれのAPが進められる中で、大きく動き出したAPが出てきている。一方で、これまでの取り組みにより各APの課題が絞られてきた。

津野町のアンテナショップ「満天の星」が4月11日にオープンし、12月末時点で年間目標の売り上げを大きく上回っている。

四万十町の海洋堂ホビー館は、オープン1周年を迎え、24年度の入場者数が12月末で約6万2千人と年間目標を上回っており、さらに企画展示・体験機能の向上を行う。

これらの大きく動き出したAPを中心にAPの関係者の意識の向上や、APにはなっていないものの民間事業者による商人塾など土佐まるごとビジネスアカデミー（MBA）への参加者も多くなっており、「産業振興」への意識が高まってきている。

また、地域への産業振興計画の浸透により、新たに3つのAPを追加予定。

(2) 具体的な動き

① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>まとまりのある産地づくり</p> <p>■No.1 地域基幹園芸品目の生産振興と農家の所得向上（須崎市、中土佐町、津野町）</p> <p>・JA土佐くろしお</p> <p>・JA四万十</p> <p>■No.2 中山間地域での持続可能な農林業経営の確立（梶原町、津野町）</p> <p>・JA津野山</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地検討会・目慣らし会等（47回開催） ・栽培現地実証圃の調査・検討（29ヶ所） ・IPM技術実証圃の調査・検討（19ヶ所） ・県外への消費宣伝（7回：JA園芸部） ・JAと振興センターが一体となって、実証圃の調査・検討による栽培技術データの蓄積を進めている。 ・また、個別巡回指導を定期的に行い、個々の農家の技術向上に努めている。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>個々の農家の所得の安定化 ⇒栽培技術の改善や重油高騰対策の継続実施</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培指導 現地検討会等24回、実証圃設置12カ所、個別巡回指導等133回 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>平坦地なみの所得を上げる農家の育成 中山間地域の園芸産地の維持 ⇒栽培指導の継続実施</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 3 基幹品目等の維持・発展による地域農業の活性化(四万十町)</p> <p>・ J A 四万十</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地検討会等の開催 ミョウガ 6 回、ピーマン 6 回、ニラ 20 回、露地ショウガ 7 回 ・ JA と連携した品目別経営分析説明会の開催 16 回(ミョウガ、ピーマン、ニラ、ショウガ他) 参加率 47% <p>[課題と今後の対応]</p> <p>重油高騰による所得の減少 ⇒木質ペレットボイラーの導入(6基)</p>
<p>森を活かす取組</p> <p>■No. 14 「四万十ヒノキ」のブランド化を主体とした地域森林資源の有効活用(中土佐町、四万十町)</p> <p>・ 四万十町森林組合 ・ 須崎地区森林組合</p> <p>■No. 15 循環型社会の構築を促進するための森林資源の有効活用(梶原町)</p> <p>・ 梶原町森林組合 ・ 梶原町 ・ ゆすはらペレット(株)</p> <p>■No. 16 「1 億円産業の復活」をスローガンとする津野山産原木シイタケの産地化の推進(梶原町、津野町)</p> <p>・ J A 津野山</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十ヒノキブランド化推進協議会幹事会開催(6/1) ・ 四万十ヒノキブランド化推進協議会関係市町村課長・担当者会開催(10/16) ・ 外商活動 308 回(県内 153 回、県外 155 回)(11 月末) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域団体商標登録の対象品目や基準づくり ⇒四万十ヒノキブランド化推進協議会での検討と実行 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 営業活動延べ 75 回(県内 37 回、県外 38 回)(11 月末) ・ ペレット生産に関する協議(10 回)(11 月末) ・ 製材品販売量 2,162m³(うち F S C 認証材 868m³)(11 月末実績) ・ ペレット生産の強化:おが粉製造機の導入等について産業振興総合補助金の採択(11/28) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>ペレットの安定供給 ⇒おが粉製造機等の導入によるペレットの安定供給</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県椎茸品評会で梶原の新規生産者が金賞受賞 ・ 全農全国椎茸品評会で地域から初めて全農理事長賞を受賞 ・ H 2 3 繰越事業であるモデルほだ場の整備 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>産地化に向けた体制づくり ⇒ J A 主催による 1 億円に向けた協議</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>地域の特産品を活用した商品づくり</p> <p>■No. 19 シイラ加工の生産体制の強化 (四万十町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町 ・興津漁協四万十マヒマヒ丸企業組合 ・興津漁協 <p>■No. 20 シイラ加工食品の生産拡大 (四万十町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株) けんかま <p>■No. 24 「中土佐町のうまいもん食わしちやお」商品開発プロジェクト(中土佐町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画・ど久礼もん企業組合 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「四万十マヒマヒ竹輪」が農林水産大臣賞受賞及び日本農林漁業振興会会長賞を受賞 (第64回全国蒲鉾品評会及び第51回農林水産祭) 新パッケージの「四万十マヒマヒ竹輪」販売開始5/14 ・販売実績：153,000本(12月末実績)5,887千円 ※H23 575,000本(15,240千円) ・興津漁協四万十マヒマヒ丸企業組合の販売実績 売上高:9,888千円(12月末実績)(前年12月末対比145.1%) ※H23 販売実績：8,834千円 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>原材料の確保及び経営体としての管理・生産能力の向上 競合他社製品との差別化 ⇒関係機関等による定期的な指導・支援及び農商工連携事業の活用</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発(土佐塩麴、しょうがの恋、楽でしょうが)カフェ新メニュー(焼きラーうどん(塩麴味)) ・ファーストフード店売上実績：3,282千円(11月末実績) 全体の売上実績：24,125千円(11月末実績) ※H23 売上実績：22,566千円(計画目標23,250千円) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>ファーストフード店の経営安定 ⇒産業振興アドバイザー制度の活用等</p>
<p>6次産業化への取組等による拠点ビジネス</p> <p>■No. 23 久礼の浜屋敷整備事業(中土佐町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中土佐町 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久礼新港背後地を活用し、温泉や直販所、レストラン等多機能施設の整備を目指して取組を進めている。 ・基本設計及び実施設計委託業務：6月補正で承認 ・基本設計委託発注(契約9/10 委託期間9/10～12/15) ・実施設計委託発注(契約12/27 委託期間12/27～3/31) ・避難路測量設計委託発注(契約7/4 委託期間7/4～11/15) ・避難路整備工事(契約12/13 工期12/14～3/28) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波避難対策 ⇒避難路の整備、町全体の津波避難対策の中で整備

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 26 津野町地産地消・外商販売戦略 (津野町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとセンター ・津野町 <p>■No. 27 四万十町拠点ビジネス体制の強化 (四万十町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)あぐり窪川 ・四万十町 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工所・アンテナショップ「満天の星」オープン 4/11 売上高：159,730 千円 (12 月末実績) ・生産者会の発足 (4/19) ・販売会議・経営会議・直販所連絡会・満天の星定例会での売上高の分析・改善強化などを実施 ・直販所 (6ヶ所、満天の星の直販部門含む) 売上高：120,302 千円 (対前年比 111.7%) (12 月末実績) ※H23 売上高：137,791 千円 (対前年比 101.2%) ・「風車のまちの台所」オープニングイベント (8/18～31) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販所の野菜等商品が少ない ⇒7 月に生産者への説明会を実施 ⇒雨除けハウスの設置推進 (町単) ・農薬の安全使用と直販所でのトレサビリティ ⇒直販所における安心・安全な農産物販売システムづくりのための勉強会・体制づくり実施 (9/12、10/11) <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町拠点ビジネス運営協議会設立(5/1) ・売上高：280,211 千円 (11 月末実績 前年対比 101.3%) ※H23 売上高：392,525 千円 (前年対比 105.3%) 道の駅あぐり窪川：243,564 千円 (前年対比 112.5%) 松葉川温泉：148,127 千円 (前年対比 99.4%) ・しまんとマルシェ「四万十の蔵」7/28 オープン 販売額：20,487 千円 (12 月末実績) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施主体の経営力・体制の強化 ⇒産業振興アドバイザー制度、土佐MBAの活用等
<p>中心市街地の賑わいづくり</p> <p>■No. 21 須崎市まち全域がサービスエリア構想推進事業 (須崎市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須崎市 ・須崎市まち全域がサービスエリア構想推進委員会 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街角ギャラリー、旧三浦邸の改修案作成委託 ・SAT構想の再検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SAT構想の焦点の絞り込み ⇒H24年度中のSAT構想推進委員会の解散。 市役所職員への勉強会を実施するとともに、H25年度から発足する新たな組織での検討 ・街角ギャラリー、旧三浦邸の改修 ⇒H25.4月から採用する地域おこし協力隊を中心に利用計画の再検討

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>滞在型、体験型観光の推進</p> <p>■No. 28 須崎市の教育旅行や団体旅行の誘致に向けた体制の整備(須崎市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須崎市観光協会 ・NPOすさきスポーツクラブ <p>■No. 30 梶原町の体験型・滞在型観光の推進(梶原町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梶原町商工会 ・梶原町 ・松原まろうど会 ・坂本龍馬脱藩の郷 ゆすはらであいの会 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民泊研修の開催 ・民泊受入見込みの調査実施 ・教育旅行の受入 7校、1,032人 ・体験受入 3,747人 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民泊受入登録世帯による取組 ⇒民泊モニターツアーの実施 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社への営業活動 関東・中部(4回)、京阪神(2回)、中四国・九州(7回) ・愛媛県のイベント参加によるPR 松山春まつり 4/8、砥部焼まつり 4/21~22、えひめ・まつやま産業祭 11/25 ・メンタルヘルス&森林セラピープログラム試行事業実施(8/23-27) 6名参加 ・主要宿泊施設宿泊者数: 6,717人(対前年比: 102.8%) (11月末実績) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>「龍馬脱藩の郷」を継続活用した誘客活動の強化 ⇒H25の「梶原千百年物語り」のPR実施</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 31 清流と風と歴史に会えるまち津野町 まるごと体感！～観光集客アップ作戦～ (津野町)</p> <p>・津野町</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの開催(ふれあい特産市 5/27、ホテルまつり 6/9、夏まつり 8/15) ・アンテナショップ職員の観光研修実施(3回延べ15人) ・愛媛県南予地方へのPR(4/27) ・セラピーロードの日本ウォーキング協会コース認定 ・旅行会社によるツアー催行 ・県内外への情報発信(テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、パンフレット、インターネット等) ・観光案内板修繕(かわうそ公園) ・四万十川源流点パンフレット制作 ・主要宿泊施設宿泊者数:8,260人(対前年比:93.2%) (12月末実績) ・第3回全国源流サミット開催(10/19-21) 569人参加 宿泊延べ146人 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集客の拠点の整備 ⇒四万十源流センター「せいらんの里」を四万十川源流点の核とした誘客の拠点施設として改修し、宿泊や食事、津野町ならではの土産物の販売などを行う。 ・ガイド体制の充実
<p>■NO. 32 わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり(四万十町)</p> <p>・四万十町</p> <p>・(株)海洋堂</p> <p>・(株)奇想天外</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入館者数62,468人(12月末実績) ※オープン以降の入館者数 :139,188人(H23.7.9～H24.12.31) ・企画展等の実施 ジオラマの世界展(7/7～9/24) 海洋堂ホビートレインフォトコンテスト(6/2～7/2) 日本家屋のミニチュア展(3/17～5/28) など ※海洋堂かっぱ館オープン(7/7) 入館者数39,919人(12月末実績) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋堂ホビー館を拠点とした滞在型観光のしくみづくり ・受入体制の充実 ⇒観光協会をはじめとする関係機関や広域での連携強化、土佐旅セミナーや産業振興総合支援事業(ステップアップ)の活用

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 12 滞在型市民農園等を活用した四万十町の移住を受け入れやすい風土づくり(四万十町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町 ・営農支援センター四万十(株) 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H24年度は滞在型15棟のうち3棟が利用者交代 ・クラインガルテン四万十の入居状況 滞在型15棟 うち全棟入居 日帰型16区画 うち利用15区画 ガルテン利用者のうち1世帯が中神ノ川に移住 ・お試し滞在施設運営開始 (広井H24.4～、大正中津川H24.10～) 入居者実績3組(4/28～7/27、7/28～8/27、9/15～9/30) ・HP空家情報更新 移住相談件数94件、移住実績7組15人(12月末) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の移住に繋がるしくみづくり ⇒地域住民との交流促進、サポート体制の整備
<p>■No. 18 中土佐町地域ブランドの創出と販売促進(中土佐町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中土佐町 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スラリーアイスを活用した「びんび」ブランドの構築開始 ロゴマーク等の商標登録(6月出願、受付連絡7/6) 「びんび鰹タタキセット」(初鰹)予約販売開始 (5/1～7月末 159セット販売) 「びんびめじか」販売開始(8月～10月)14店舗 「びんび鰹タタキセット」(戻り鰹) (10/17～12/10 97セット販売) ・中土佐町観光物産センター設立(6/29) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の方向性決定(収支計画及び体制づくり) ⇒生産体制の確立のための加工施設の整備をふまえた関係機関との検討

2 平成 24 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
■No. 15 循環型社会の構築を促進するための森林資源の有効活用（梶原町）	製造量を確保し、経営を安定させるための製造工程の見直し・改善によるコスト削減と、他エネルギーと調和した価格の実現と雇用の確保を図るため、おが粉製造機ほか関連設備を導入する。	55,427 (36,951)
■NO. 34 四万十町の地域活性化の核となる宿泊事業への取組（四万十町） ※ステップアップ事業	奥四万十構想の観光資源の核となる宿泊事業に取り組むための事業収益調査	2,205 (1,000)
■NO. 11 四万十の栗再生プロジェクト ※ステップアップ事業	四万十川流域のお茶・栗を中心にした商品加工とカフェ機能を持った施設を建設するための基本コンセプトづくり	2,100 (1,000)
■大谷漁業協同組合ネイリ部会による野見湾産養殖カンパチの販路拡大事業（須崎市） ※ステップアップ事業（水産振興部対応）	品質に応じた価格で販売が見込める県外ホテルや生協等業務筋との直接取引先の開拓・確保	928 (441)

3 県民参画に向けた取組

○第 2 期産業振興計画の説明

- ・地域資源活用共有会議で第 2 期計画の紹介
- ・高南地区農業改良普及推進会議で説明「みんなが主役 高知県産業振興計画」

○土佐の産業おこし参加プラン募集の案内

- ・須崎商工会議所での説明
- ・市町広報紙への掲載に向けた調整
(掲載：須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町)

○産業振興計画シンポジウムへの参加案内

- ・地域アクションプラン事業者への案内（けんかま、ど久礼もん、満天の星等）
- ・地域団体への案内（JA土佐くろしお、JA津野山、須崎商工会議所等）

○商人塾受講への働きかけ

- ・丸共味噌醤油醸造場、宮進商店、雲の上ガーデン、あぐり窪川：玉沖クラス
- ・四万十ドラマ：白井クラス

○ものづくり総合技術展への出展呼びかけ

- ・(株)いちばん船、企画・ど久礼もん企業組合、鷹取キムチの里づくり実行委員会、梶原キジ組合、(株)満天の星、(株)あぐり窪川、ビレッジ影野、(株)ぶらうん

4 相談案件：6件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/4	雇用	水耕栽培や菌床シイタケの栽培による雇用の拡大
2	4/17	観光交流	建設業の新分野進出による観光交流の拡大
3	5/25	食品加工	須崎市内でうつぼを使ったパイの商品化などを行いたい。
4	9/11	観光交流	一の又溪谷温泉を核にした楽市楽座等による地域おこし
5	10/24	農業	㈱しまんと新一次産業による四万十川流域の地域資源の生産基盤強化
6	1/24	食品加工	てっぺん四万十茶（500ml ペットボトル）改良等
7	2/1	外商	漬物等の外商等について